

青果全体では9億2千万円となりました。

本年も2組の新規就農者の参入が予定されており、ミニトマト部会が目標として掲げる10億円を目指して参ります。

基幹産業である軽種馬については、昨年の市場販売頭数及び販売金額が、481頭、62億1千万円で昨年より43頭、14億4千万円の増加となり、平均販売価格は202万円増加の1291万円となりました。北海道市場では、新型コロナウイルス感染症対策を行い、例年同様開催することが出来、総売上は過去最高の150億円を超える結果であり、活気に満ち溢れる一年となりました。

また、昨年の重賞レースでは5月1日、阪神競馬場で開催された「天皇賞・春」、6月26日、同じく阪神競馬場で開催された「宝塚記念」で岡田スタッド生産のタイトルホルダー号がG1勝利を挙げました。改めて生産牧場の皆様にお祝い申し上げます。

毎年10月に開催されているしずない農業まつりは、特別栽培米「万馬券」の新米を含む取り纏め販売を行い、多くの町民の方に注目を

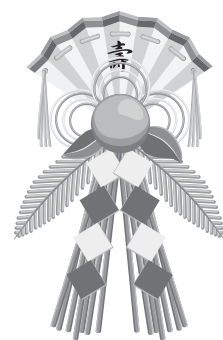
頂きました。また、10月14日には田原資材センターで創業祭を開催し、稲作振興会会員が新米の精米実演販売を行ったところ、とても好評でした。本年はコロナ禍が落ち着き開催出来る環境になることを願うものです。

なお、青年部活動は5月末から7月上旬にかけて、新ひだか町の小学校4校と新たに静内保育所を訪れ、定植体験授業、選果場見学、圃場見学を行い、ミニトマト産地ならではの取組みにより子供たちに学べる環境を作ることができました。

最後に、昨年は農業振興5カ年計画を策定してから半ばの3年目というところで当初計画されていた通りの運営が出来ているのか検証を行い、各品目の将来について組織討議を行っております。大変厳しい農業環境の中ではありますが、組合員皆様が力強い農業経営の実現に向け当JAとしましても努力して参りますのでこれまでと変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます



代表理事組合長

片岡 博

副組合長

西村 和夫

理事

小倉 正信

伊藤 佳幸

谷岡 康成

山口 修二

藤村 英治

理事兼管理部長

大滝 康正

代表監事

渡辺 隆

監事

野表 忍

金融部長

小川 哲哉

営農部長

丹野 潤一

経済部長

樗田 文明

外職員一同

